スポーツ　スポーツ振興課☎072－433－7121

ソフトテニス「水ナス杯」

▶日時　７月12日(土)・13日(日)午前９時[雨天の場合は19日(土)・20日(日)に延期]▶場所　ふれあい運動広場テニスコート▶対象　18歳以上の方(高校生を除く)▶参加費　１組3,000円▶締切　６月30日(月)午後５時▶問合せ先　ソフトテニス協会(舘)☎090－4567－7078

募集　夏休みニュースポーツ体験

夏休み期間中、小学生たちがたくさんのスポーツを体験できる「夏休みニュースポーツ体験講座」を開催します！
▶種目　ドッジボール、モルック、輪投げなど(参加者に応じ実施)▶定員　各30人程度(多数の場合は抽選)▶申込　６月30日(月)までに二次元コードで(二次元コードで申込が出来ない方は要相談)

※詳しくはホームページまたは総合体育館にある募集要項で確認してください。
申込・問合せ先　スポーツ振興課
☎072－433－7121

申込　ホームページ

図　書　館　☎072－433－7200

◆おはなし会(土曜午前11時～)
▷６月14日・21日・28日　絵本のコーナーで絵本を読みます。
▷７月５日　２階視聴覚室で５歳ぐらいからを対象にストーリーテリングをします。

◆おはなし会☆ひよこぐみ☆
乳幼児向けに絵本の読み聞かせや手遊びなどをします。
▷日時　７月４日(金)午前11時～
▷場所　絵本のコーナー▷対象　乳幼児と保護者

◆“ほん”のひととき　わたしタイム
本の紹介やみんなで楽しくおしゃべりをしましょう。子どもを預けてゆっくり本を選ぶ時間もありますよ。[ID35086]

▷日時　６月20日(金)午前10時～11時▷場所　２階視聴覚室▷対象　就学前の子どもと保護者▷定員　５組程度(市内在住の方優先。定員になり次第締切)▷申込　６月19日(木)午後４時までに窓口・電話・二次元コードで

申込

◆映画会「夢の降る街」
▷日時　６月22日(日)午後１時15分～３時▷場所　２階視聴覚室▷定員　40人(定員になり次第締切)▷申込　窓口・電話で

◆６・７月の休館日
火曜、６月30日(月)、７月21日(月)・31日(木)

関空だより　☎072－455－2500

パスポート取得キャンペーンを実施中！

海外旅行をより身近に感じていただいてもらうことを目的に「パスポート取得キャンペーン」を実施しています。８月31日までの対象期間中に「新規」または「更新」でパスポートを取得し、関西国際空港または神戸空港から海外旅行をする方の中から、抽選で総計155人に10,000円分のQUOカードPayをプレゼントします。ぜひこの機会にパスポートを取得して、世界へ飛び出してみませんか？

詳しくはコチラ

©Kansai Airports SORAYAN

大阪産デジタルスタンプラリー　～泉州美味いもん巡り～

泉州地域の旬の農産物を取り扱う直売所や観光農園、飲食店などを巡るスタンプラリーです。各コース半数以上のスタンプを集めて抽選で素敵な景品をもらっちゃおう！
▶期間　７月12日(土)まで
▶問合せ先　大阪府泉州農と緑の総合事務所農の普及課☎072－439－3601

申込

善兵衛ランド　☎072－447－2020

6月の星空

天頂のあたりで明るく光るオレンジ色の１等星は、うしかい座のアークトゥルスです。ちょうど麦刈りの季節に輝くことから「麦星(むぎぼし)」「麦刈星(むぎかりぼし)」とも呼ばれます。アークトゥルスから逆さまのネクタイの形に星が並んでいるのが、うしかい座です。うしかい座は、狩人アルカスや天を支える巨人アトラスといわれ、いくつかの神話が伝えられています。
うしかい座の隣に、星がきれいな半円形に並んでいるのが、かんむり座です。酒の神ディオニュソスが、クレタ島の王女アリアドネを妃に迎えるときに贈ったものです。２等星アルフェカがわかれば、条件の良い空では整った形を見つけることができます。また、アルフェカには「欠けた皿」という意味があり、見方によってはそのように見えることでしょう。

動画はコチラ

さて、星空にはもう１つ「かんむり」があります。夏の星座いて座のすぐ南にある「みなみのかんむり座」です。一番明るい星でも４等星で日本では低空にしか見られないのですが、古くから知られている星座です。

★天文イベント
月を見よう[ID34712]
７月５日(土)午後７時30分～
★惑星の観察
昼過ぎまで金星が観察できます。夜は火星が見えますが、しだいに西に沈む時刻が早くなっていきます。
★６・７月の休館日
水曜、７月24日(木)
※６月26日(木)、７月17日(木)は集会室と多目的室のみ利用できます。

自然遊学館　☎072－431－8457　火曜休館
メール：shizen.desk@icloud.com

EXPO2025共創チャレンジ協賛行事

アマモ場の生きもの観察

アマモ場に生息している魚や海の生きものを観察してみましょう。
▶日時　７月６日(日)午後１時～３時30分(小雨決行・大波中止)▶集合自然遊学館▶対象　小学生以上で泳げる方▶定員　20人(小中学生は保護者同伴。多数の場合は抽選)▶締切　６月22日(日)までに住所(番地以下不要)・氏名・学年を記入しメール・窓口で

生きものだいすき！「ヒバカリ」

大きな誤解

猛毒をもっていて、かまれたら命はその日ばかり…
そんな逸話から「ヒバカリ」という名前がついたヘビがいます。しかし、実際は猛毒どころか無毒のヘビで、あまりかみつくことはありません。どんな行き違いがあったのかわかりませんが、大きな誤解が名前にまで及んでいます。
ヒバカリは日本の固有種で、本州・四国・九州に生息しています。平地から低山地の水辺で暮らしていて、泳ぎも上手く、小魚・カエル・オタマジャクシ・ミミズなどを食べます。口元から首にかけて襟のような黄白色の部分があるのが特徴です。小さなヘビで成体になっても40～60cmにしかならず、鉛筆ほどの太さでとてもかわいらしいヘビです。
さて、ヘビに手足はありませんが、実はまぶたもありません。目が開きっぱなしの状態です。開きっぱなしの目でにらまれると人間は恐怖を感じるのかもしれません。しかし、日本でヘビの方から人を襲ってくることはまずありません。人を怖がったヘビが身を守るために攻撃してくるだけです。手足がなく、うろこに覆われた体で、まばたきせずに、こっちをにらんでくる恐ろしい生きもの、それ自体が大きな誤解なのです。ヒバカリは夏になれば活動が活発化します。小さくかわいらしいヒバカリに出会ったら、大きな誤解を解くチャンスかもしれません。